

2021年1月14日改訂

東都リハビリテーション学院

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

学校法人 小関学院

専門学校 東都リハビリテーション学院

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症については、未だに収束は見えず、長期的な対応が見込まれる状況であり、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していくことが求められます。本校は、文部科学省「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインについて（周知）」、同省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」」、同省「専門学校等における本年度後期等の授業の実施と新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について（周知）」に基づき、東都リハビリテーション学院「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定し、対策を徹底していきます。

なお、本ガイドラインは、感染状況や社会状況等により、急遽変更が生じる場合があります。

2. 本校としての行動方針

- (1) 三密（密閉空間、密集場所、密接場面）を回避して、感染対策に取り組みます。
- (2) 行動制限レベルに応じた行動指針を明示し、柔軟な対応を取っていきます。
- (3) 感染拡大防止策をとり、適切な授業を実施し、教育の質の保証を維持していきます。

3. 行動制限レベルと行動指針

行動制限レベルの判断は、本校において検討・決定します。これに伴う具体的な措置・対応ならびに表中に記載のない項目に関する対応については、内容に応じて別途決定します。なお、行動制限レベルの設定および措置はあくまでも指針として示すものであり、状況を総合的に検討した上で、下記にない措置を判断することがあります。今後の状況に応じて、随時各項目の加筆修正を行う場合があります。

行動制限 レベル	行動指針					施設	
	登校	講義	実技	実習	課外活動	図書室	自習室等
レベル4 緊急事態	登校不可	遠隔授業	遠隔授業	中止／代替	中止	利用不可	利用不可
レベル3 警戒(高)	一部登校	遠隔授業 対面授業	遠隔授業 対面授業	実習先と調整、困難な場合は学内実習等への代替	中止	利用不可	利用不可
レベル2 警戒(中)	分散登校	遠隔授業 対面授業	遠隔授業 対面授業	実習先と調整、困難な場合は学内実習等への代替	原則中止	一部利用可	一部利用可
レベル1 要注意	通常登校	対面授業	対面授業	実施	可	通常	通常

(1) 行動制限レベル4 (緊急事態)

①登校の可否について

- ・原則、学生の登校は不可とします。

②授業形態について

- ・原則、すべての授業を遠隔授業で実施します。遠隔授業が難しい授業については、講義時期や教育方法の見直しを行います。
- ・原則、学外実習は実施中止とし、学内実習等への代替を検討します。

③課外活動について

- ・クラブ活動は中止とします。

④施設利用について

- ・原則、学生は入校禁止として、学内施設の利用は不可とします。

(2) 行動制限レベル3 (一部登校)

①登校の可否について

- ・感染状況によるが、学生の登校は一部登校を可とします。

②授業形態について

- ・講義形式の授業において、原則、遠隔授業にて実施します。遠隔授業が難しい授業については、講義時期や教育方法の見直しを行います。
- ・実技ならびに実習形式の授業は、感染防止対策を施しながら、原則、遠隔授業、また一部を対面授業として行います。
- ・学外実習は、実習先施設との調整にて検討し、困難な場合は、学内実習等への代替を検討します。

③課外活動について

- ・クラブ活動は中止とします。

④施設利用について

- ・原則、学内施設 (図書室・自習室等) の利用は不可とします。

(3) 行動制限レベル2 (分散登校)

①登校の可否について

- ・学生の登校は分散登校とします。

②授業形態について

- ・講義形式の授業において、遠隔授業と対面授業に区分して実施します。
区分後において、やむを得ない事情がある場合は、変更が生じる場合があります。
- ・実技ならびに実習形式の授業は、感染防止対策を施しながら、対面授業として行います。
- ・学外実習は、実習先施設との調整にて検討し、困難な場合は、学内実習等への代替を検討します。

③課外活動について

- ・クラブ活動は原則中止とします。但し、活動において顧問が監督し、感染対策が十分講じられていると学校が判断した場合、一部活動を許可する場合があります。

④施設利用について

- ・一部制限を設けながら、学内施設 (図書室・自習室等) を利用可とします。

(4) 行動制限レベル1 (要注意)

①登校の可否について

- ・学生の登校は通常登校とします。

②授業形態について

- ・講義形式の授業において、対面授業を主として、一部、遠隔授業を実施します。
区分後において、やむを得ない事情がある場合は、変更が生じる場合があります。
- ・実技ならびに実習形式の授業は、感染防止対策を施しながら、対面授業として行います。
- ・学外実習は、実習先施設との調整にて検討し、困難な場合は、学内実習等への代替を検討します。

③課外活動について

- ・顧問が監督し、感染対策が十分講じられていると学校が判断した場合、活動を許可します。

④施設利用について

- ・一部制限を設けながら、学内施設（図書室・自習室等）を利用可とします。

4. 感染症予防対策について

(1) 一般的な感染症予防対策（接触・飛沫感染防止）

①体調管理

- ・毎日の検温と体調の確認を習慣とします。
- ・発熱や咳、風邪等の症状又は家族や身近な人に感染が疑われる場合は、外出せず、自宅療養とします。
- ・免疫力を高めるため、十分な睡眠や適度な運動、バランスのとれた食事を心がけます。

②感染経路の回避

- ・飛沫感染および接触感染を防止するため、学内外問わず、メガネとマスクの着用を徹底します。
マスクとメガネの着用により、目、鼻、口を触り難くするため、接触感染を防ぐこととなります。
ただし、マスクの着用において、熱中症などの健康被害が発生する場合は除きます。
- ・石鹸と流水による手洗いを徹底します。
- ・校舎への入館の際は、手指のアルコール消毒液で消毒を行います。

③三密（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避

- ・換気を徹底します。
- ・身体的距離の確保を徹底します。
- ・マスクの着用を徹底します。ただし、熱中症などの健康被害が発生する場合は除きます。

④通学時のマナー

- ・公共交通機関（電車・バス等）を利用する場合は、可能な限り、混雑時間を避け、駅や車内ではマスクを着用し、会話や接触を控える等、飛沫感染と接触感染の防止を徹底します。

⑤クラスター発生の防止

- ・飲食店における会食の場等を介した感染拡大が確認されている状況を踏まえ、飲食店等におけるクラスター発生の防止や大人数での会食を避け、大声を出す行動を自粛します。

⑥行動の記録

- ・万が一感染した場合に備え、感染経路が特定できるよう各自での行動記録を励行します。
- ・接触確認アプリ（COCOA）の活用や地方自治体独自の通知システムの利用登録を推奨します。

（２）学生生活における感染症予防対策（接触・飛沫感染防止）の徹底

①検温について

- ・起床時および就寝時に検温を行ってください。
- ・登校時に教室で持参の体温計で検温を行ってください。
- ・検温の結果、「体温に関する基本方針について」に基づき対応してください。
但し、体温に限らず、日々の体調管理に留意してください。

◎体温に関する基本方針

- ・検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合、登校を控え、本ガイドライン P.8「項目 5. 新型コロナウイルス感染症に感染した場合等の登校再開について」に従って行動してください。

②登校時に持参するもの

- ・マスク（出来れば予備を携帯してください）
- ・メガネ（目からの感染を予防します）
- ・ティッシュ（鼻をかんだ後や手洗い後に廃棄してください）
- ・体温計（接触型体温計の共有利用は感染リスクを高めます）

③登下校について

A. 登校・下校時間

- ◎登 校 : 9時より入校可能とし、9時30分までに自席に着席してください。
新校舎のみ、電車の混雑等の回避に対応すべく、8時30分より入校可能とします。
- ◎下 校 : 基本、17時45分までに下校してください。（4年生等は別途対応有）

B. 登下校の約束

- ・公共交通機関の利用時はマスク着用を徹底しましょう。
- ・学校到着後や帰宅後は、速やかに手洗いと手指アルコール消毒を行きましょう。
- ・登下校（移動）中は、極力顔に触れないように気をつけましょう。

④登校してからの流れ

- ・内履きに履き替えます。
- ・使用教室に移動、自席の隣に荷物を置いてください。※教室内の棚は使用不可。
- ・トイレや新校舎テラス等で手洗いを実施します。
- ・最初に登校した学生は、教室の窓を開け、換気を行います。
- ・授業開始前までに自席に着席し、検温を行います。
- ・体温体調管理表に体温・体調を記載してください。
- ・エレベーターの利用は原則禁止とします。但し、日直が荷物を運ぶなどの場合は、教員の許可を得て使用すること

⑤授業の受講方法について

- A. 定期的（基本、30分に1回以上）に換気を行います。
 B. 休憩時間は窓およびドアを開放して換気を実施します。
 C. 教員の対応

- ・マスク、メガネを着用します。
- ・マイクを使用します。
- ・教室の巡回や学生との会話を中心とした講義形式は避けます。
- ・実技でデモンストレーションを行う場合は、密を避ける目的で複数回に分けます。

- D. 学生の対応

《座学について》

- ・**マスクの着用を義務とします。忘れた場合は受講を認めません。**
- ・各机にパーテーションが設置してあるため、メガネの着用は必ずしも必須ではありません。
- ・座席は指定された席を使用してください。（最低1席空けた配置とします）
- ・座学での講義は、机に置かれている衝立を組み立てて使用します。
- ・熱中症など、少しでも体調不良を感じた場合は、挙手をして教員に報告してください。
- ・教員より特別な指示がない限り、講義中は会話を行いません。

《実技について》

- ・**マスク、メガネの着用を義務とします。忘れた場合は受講を認めません。**
- ・更衣室を使用する際は、密にならないように留意してください。
- ・適宜、手洗いや物品の消毒を徹底してください。
- ・教員より特別な指示がない限り、講義中は会話を行いません。
- ・共有物品の使用は最小限とし、もし使用した場合は学生各自で使用後に消毒してください。
- ・当日中の実技ペアは固定とします。
- ・実技のデモンストレーション時の見学は、密にならないようにします。
- ・実技に使用した着衣は、放置しておかないようにします。また、ロッカー内に保管せず、その日のうちに洗濯をしてください。守られない場合は、厳重に指導をします。

⑦出席確認について

- A. 講義の出席確認

- ・教員が学生名をよび、それに対して学生は挙手にて答えてください。
- ・遅刻した学生は、休憩時に講義担当教員に報告してください。
- ・遅刻届は当日のうちに南校舎事務局まで提出してください。

- B. 遅刻／欠席時の対応の仕方

- ・らくらく連絡網にて担任に連絡してください。
- ・遅刻／欠席届については、従来通り提出してください。

- C. 新型コロナウイルス感染症に罹患した場合の対応について

新型コロナウイルス感染症に罹患した場合には、出校停止となるため、欠席日数には含まれません。

ただし、罹患した証明として診断書の提出を義務とします。また、家族に感染者が発生した場合や濃厚接触者となった場合などは、出校停止とする場合があるため、早急に担任に報告してください。

⑧休憩時間の過ごし方について

- ・休憩時間中は、窓やドアを開放し、換気を徹底してください。
- ・会話をする際は、マスクを着用し、一定の距離を保つことを原則とします。
マスク未着用時は、大きな声を出さないようにしてください。
- ・他学生の机や席の接触は最小限にしてください。
- ・他学生との物理的な接触は行わないようにしてください。
- ・テラスを使用する際は、学生間の距離を保ち、マスクをしない状態での会話は禁止とします。

⑨昼食のとり方について

- ・食事をとる直前には手洗い、消毒を徹底してください。
- ・指定座席で衝立を使用したまま、会話をしないように食事を行ってください。
- ・昼食後はマスクを着用してください。
- ・食べ物や飲み物の共用は禁止です。
- ・付近のコンビニが密になる可能性があるため、極力、事前に購入するか自宅から持参してください。

⑩廃棄物について

- ・使用後のマスクや鼻をかんだ後のティッシュは自前のビニール袋に入れて、休憩時に専用ゴミ箱に廃棄してください。その他のゴミはこれまで通り、ゴミ箱に廃棄してください。
※学生は、ゴミ箱内のゴミ袋をまとめて捨てる作業は行いません。

⑪学校施設の利用について

基本は、「項目3. 行動制限レベルと行動指針」に順じ、感染状況や社会情勢などを勘案して検討して学校が決めます。

《実習室の利用について》

- ・利用可能時間 9:30～17:45 です。
- ・一度に利用できる人数は15人までとします。
- ・実技練習の場合は、原則、教員の付き添いを必須とします。
- ・利用方法は「実技について」を順守してください。

《国家試験に向けた学習環境について》

理学療法学科 1 部・2 部 4 年生を対象に、以下にて利用を開放とします。

A. 教室等

曜日	利用時間	教室	定員	教職員
月曜	～ 19:30	新校舎 201 教室	30 名	河野先生
火曜	～ 19:30	新校舎 201 教室	30 名	河野先生
水曜	～ 20:30	本校舎 自習室	20 名	本多先生
木曜	～ 20:45	本校舎 自習室	20 名	清川先生
金曜	～ 20:30	本校舎 自習室	20 名	本多先生

B. 図書室

曜日	利用時間	定員
月曜	14:00 - 17:45	24 名
火曜	10:00 - 17:45	24 名
水曜	10:00 - 17:45	24 名
木曜	10:00 - 20:45	24 名
金曜	14:30 - 20:15	24 名

C. 利用方法

- ・利用時間帯は自由に利用できます。但し、既に定員に達している場合は利用出来ません。
- ・退室時は、利用した机・椅子を整頓してください。
- ・図書室以外の最終退室者は、窓と玄関の戸締りを行い、電気と空調を消してください。そして、担当教職員まで口頭で報告してから帰宅してください。

D. 利用の注意事項について

- ・水曜・金曜は、本校舎への入館は、17:50までに済ませてください。
- ・「東都リハビリテーション学院 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に順守してください。

⑫清掃について

- ・本校その他諸規則に順じて、所定箇所の清掃は学生が行います。
- ・ゴミ箱内のゴミを、本校舎ゴミ集積所に搬送にあたっては清掃員が担います。

⑬感染対策に向けた消毒について

- ・放課後、教職員と学生が共同し、次亜塩素酸ナトリウムにて消毒を行います。消毒箇所は、学生及び教員が手を触れる箇所（教室や実習室の机・椅子・関連備品、教室とトイレのドアノブ、手すり、スイッチ、机、黒板消し、自動販売機など）や床とします。

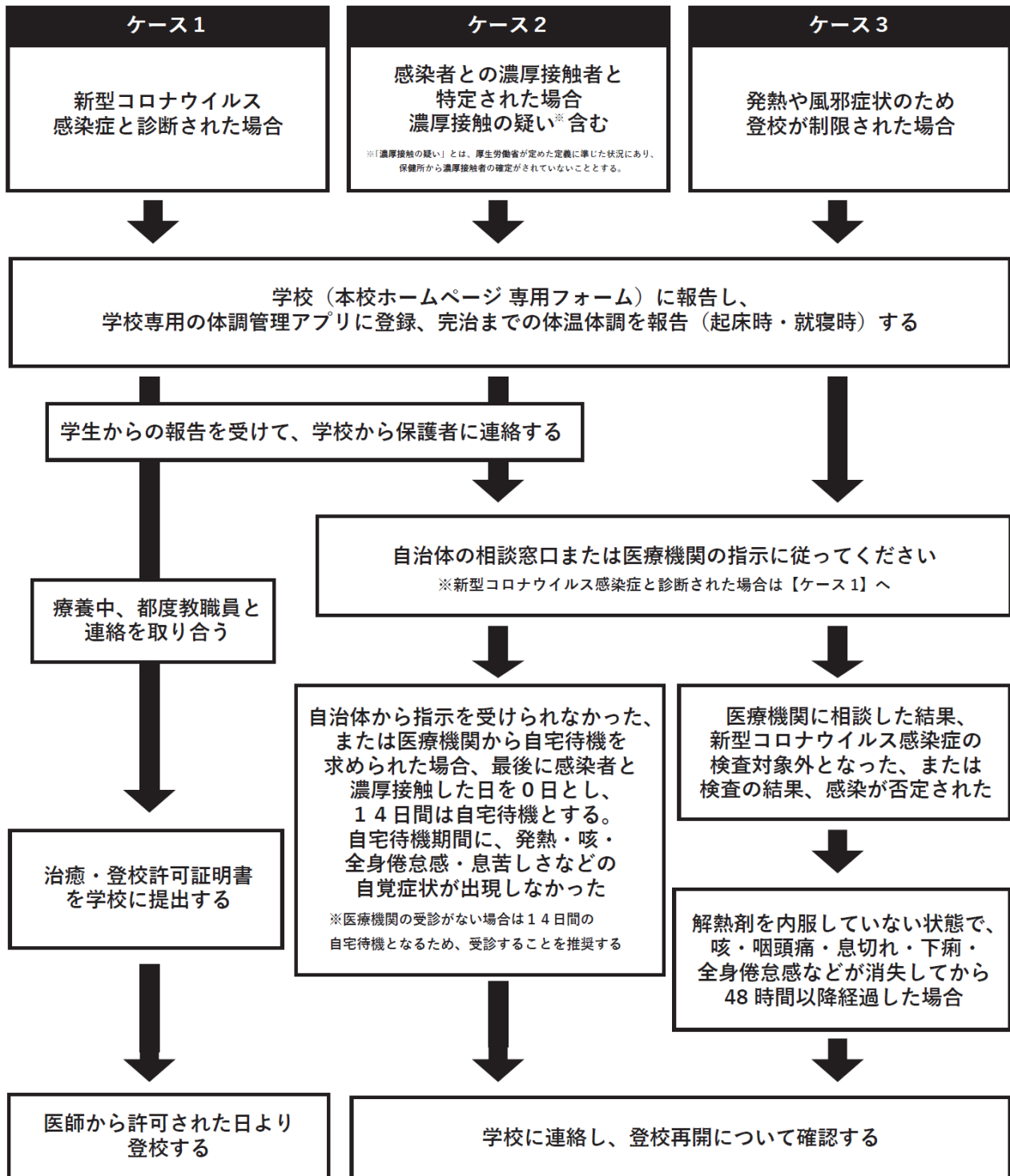
⑭放課後や休日における行動について

全国で飲食店における感染が拡大しており、とりわけ飲食を伴う会合に起因する感染が多い現状に鑑み、放課後に友人同士、複数人での飲食を自粛するなど、十分注意をお願いします。また、人が密集するところを避けるような行動をお願いします。

5. 新型コロナウイルス感染症に感染した場合等の登校再開について

新型コロナウイルス感染症に感染した場合、濃厚接触者と特定された場合（疑い含む）、発熱等の症状があった場合、以下のフローに従って行動してください。万が一、新型コロナウイルス感染症に感染した場合、本校所定『「学校における感染症」治癒・登校許可証明書』の提出が必要となります。

予め本証明書に記載可能な医療機関であることを確認の上、受診してください。



6. 新型コロナウイルス感染症に関連する差別や偏見

感染者や濃厚接触者、またはその家族に対する差別や偏見を持たないように心がけましょう。また、医師や看護師等の医療従事者は感染のリスクを抱えながらも最前線で戦っています。差別や偏見の目で見るとはならず、感謝の気持ちを持ちましょう。

差別や偏見のもととなる「不安」を解消するためにも、正しい情報（公的機関が提供する情報）を得ること、悪い情報ばかりに目を向けないこと、差別的な言動に同調しないことが大切です。

7. 参考資料

- 1) 文部科学省 学校における新型コロナウイルス感染症 に関する衛生管理マニュアル
～「学校の新しい生活様式」～（2020年9月3日 Ver.4）
https://www.mext.go.jp/content/20200903-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf
- 2) 東京都教育委員会 新型コロナウイルス感染症対策と 学校運営に関するガイドライン
【都立学校】 ～学校の「新しい日常」の定着に向けて～（令和2年5月28日）
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/press/press_release/2020/files/release20200528_02/guidelines01.pdf
- 3) 日本理学療法教育学会 理学療法教育における面接授業再開に向けた手引き（2020年6月30日）
http://jspt.japanpt.or.jp/jspte/info/network_covid19_01.html
- 4) 文部科学省 学校における消毒の方法等について（令和2年6月4日）
www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/796640.pdf
- 5) 文部科学省、厚生労働省 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について（令和2年6月1日）
<https://www.mhlw.go.jp/content/000636112.pdf>

以上